

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 7 月号

1. 信用事業店舗および相談・取次所でオンライン相談開始

J A 鳥取西部は、信用事業店舗および相談・取次所への遠隔相談タブレット端末を 9 台導入し、ウェブ会議システムを活用して組合員や利用者とのオンライン相談を始めた。

オンライン相談の運用で、組合員や利用者は、最寄りの相談・取次所から総合支所などにいる職員と相談ができ、感染リスクを抑えながらコロナ禍で進む「新しい生活様式」でも相談機能を発揮する。

また、支所窓口に透明アクリル板やビニールカーテンの設置で飛沫感染防止を徹底し、非接触式検知器（サーモマネージャー）を来店客数の多い信用事業店舗に導入し、安心して J A を訪問してもらえる環境も整えた。



2. 情報発信を強化。組合員専用ページ改修や SNS の開設

J A 鳥取西部は、公式ホームページ内にある組合員専用ページの改修とツイッターに公式アカウント (@jatottoriseibu) を開設した。

組合員専用ページは、市況情報や病虫害情報などの PDF を、簡易表示またはダウンロード選択ができるように改修した。ツイッターの公式アカウントは、J A の公式ホームページの更新状況、お知らせなどの情報を適宜配信予定である。



3. 夏秋ピーマン生産強化目指す。21年度は生産者増

J A 鳥取西部ピーマン部会は 6 月 10 日、日南町で役員会を開いた。令和 3 年産夏秋ピーマンの生産販売計画や出荷規格、出荷取り扱いなどで意見を交わした。

同 J A は令和 3 年度から夏秋ピーマンを生産強化品目に設定。若手生産者に栽培を呼びかけるなど産地拡大に取り組み、令和 3 年度は生産者が前年より 9 人増える見込みである。



以上